

これまでの歩み

1996.6.4 四国EVラリーフェスティバル調査委員会発足

1996.8.31 第1回電気自動車フォーラム

場所：高松大学多目的ホール

内容：電気自動車の将来展望電気自動車研究会事務局長内田敬之氏

四国電力が開発した電気自動車 PIVOT の紹介四国総合研究所樋笠博正氏

電気自動車ラリー競技の見どころ・楽しさ・取組み(株)ツア・アト・フォー社長岡波勉氏

電気自動車コンバージョン製作の技術と楽しみ(株)ソフィックス社長大藪弘隆氏

四国EVチャレンジ2000構想の紹介鳴門教育大学助教授宮下晃一氏

1996.10.27 第2回電気自動車フォーラム

場所：高知県工業技術センター

主催：電気自動車研究会四国地域委員会 / 四国EVラリーフェスティバル調査委員会

共催：高知県

協賛：こうちテクノピア実行委員会

内容：ビジネスチャンスとしての電気自動車の可能性高松短期大学教授 藤本 稔氏

改造電気自動車のナンバー取得大阪市立大学助教授 南 繁行氏

改造電気自動車の製作記録高知工業高校教諭 三谷誠志氏

電気自動車見学会(会場前庭およびテクノピア会場に展示されたEVを見学)

ホンダの提案する近未来型地域交通システム

本田技術研究所エグゼクティブ・チーフエンジニア長谷川俊平氏

「四国EVチャレンジ2000」構想の紹介鳴門教育大学助教授 宮下晃一氏

1996.11 四国EVチャレンジ2000調査委員会へ改称

1997.2.16 第3回電気自動車フォーラム

場所：阿南工業高等専門学校

主催：電気自動車研究会四国地域委員会 / 四国EVチャレンジ2000調査委員会

共催：阿南工業高等専門学校

協賛：トヨタビスタ徳島, トヨタカローラ徳島, 徳島トヨペット

後援：徳島県, 日本自動車連盟四国本部, 徳島県自動車整備振興会, 日本自動車販売協会

連合会徳島県支部, 四国電力徳島支店, 徳島新聞社, 朝日新聞徳島支局, 毎日新聞社

徳島支局読売新聞社徳島支局, NHK徳島放送局, 四国放送, エフエム徳島

内容：映像記録スキャンジナビア電気自動車ラリー東京映像社社長大滝勝氏

電気自動車の製作徳島工業短期大学佐藤員暢氏

Tsukuba EV Shocking 96 で学んだこと日本 EV クラブつくば片山慎太郎氏

電気自動車の見学と試乗

クリーンエネルギーを利用した四国観光の提案GS技術サービス岡崎一郎氏

「四国EVチャレンジ2000」計画の紹介鳴門教育大学宮下晃一氏

1997.3.22～30 第1回電気自動車製作教室

場所：徳島工業短期大学

主催：電気自動車研究会四国地域委員会 / 四国EVチャレンジ2000調査委員会

後援：徳島県自動車整備振興会，JAF 四国本部，NHK 徳島放送局，四国放送，徳島新聞
日刊自動車，FM びざん

1997.4 環境事業団地球環境基金からの平成9年度助成事業に採択

1997.7.27 四国EVチャレンジ2000委員会へ改称

1997.10.1 四国EVラリーフェスティバル 98の実施を発表，参加者募集開始

1997.11.13 四国EVラリーフェスティバル 98が徳島県神戸～鳴門ルート全通記念事業ホロニイベント大賞受賞

1997.11.26 第4回電気自動車フォーラム

場所：鳴門市文化会館

主催：電気自動車研究会四国地域委員会 / 四国EVチャレンジ2000委員会

共催：徳島工業短期大学

内容：電動バイクを楽しもう阿南工業高等専門学校多田博夫氏

プレリウドEVデモ走行徳島工業短期大学佐藤員暢氏

世界の電気自動車事情電気自動車研究会内田敬之氏

四国EVラリーフェスティバル 98について鳴門教育大学宮下晃一氏

自動車社会の将来と電気自動車自動車評論家徳大寺有恒氏

1998.1.17～25 第2回電気自動車製作教室

場所：岸本自動車（徳島県麻植郡山川町）

1998.1.25 第5回電気自動車フォーラム

場所：高松大学多目的ホール

協賛：高松大学，エフエム香川，香川トヨタ自動車，香川ダイハツ販売
後援：香川県，高松市，香川県商工会連合会，香川県自動車整備振興会
内容：ガソリン自動車と地球環境問題香川県環境アドバイザー納田徹也氏
低公害車の開発と普及の状況電気自動車研究会内田敬之氏
誰でも作れる電気自動車の製作方法（製作から車検登録まで）
徳島工業短期大学佐藤員暢氏
高知工業高等専門学校野村弘氏
四国EVラリーフェスティバル 98の概要鳴門教育大学宮下晃一氏

1998.8.22～27 四国EVラリーフェスティバル 98

場所：高松～新居浜～徳島～高知を結ぶ公道ならびに高松大学（高松市），瀬戸内短期大学（香川県三豊郡），新居浜工業高等専門学校（新居浜市），四国電力池田支店（徳島県三好郡），阿讃サーキット（徳島県三好郡），アスティー徳島（徳島市），津の峯山頂（阿南市），まぜのおか（徳島県海部郡），室戸少年自然の家（室戸市），カリヨン広場（安芸市），高知ちばさんセンター（高知市）

後援：環境庁、四国通産局、環境事業団地球環境基金、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、四国電力、四国新聞社、愛媛新聞社、徳島新聞社、高知新聞社、日本電動車両協会、JAF日本自動車連盟四国

本部協賛：日本電池、NTTドコモ四国、麒麟ビール(株)四国支社、日本機械学会中国四国支部、電気学会四国支部、日本産業技術教育学会四国支部、石油学会、電気化学会燃料電池研究会

参加数：第1ステージ：19チーム

第2ステージ：42チーム

各チーム関係者数：約300人

運営ボランティア：約300人

各会場見学者：約1200人

沿道での観客：多数

1999.4 第3回電気自動車製作教室

場所：高知東工業高校（高知市）

1999.8.21～23 四国EVラリーフェスティバル 99

場所：センチュリープラザホテル（徳島市）および阿波町役場（徳島県阿波郡），ならびにそれらの周辺公道

協賛：日本電池，NTT 四国移動通信網，徳島県職員労働組合

後援：環境庁，四国通商産業局，徳島県，愛媛県，香川県，高知県，新エネルギー・産業

技術総合開発機構，日本電動車両協会，日本自動車連盟，電気自動車研究会，日本EVクラブ，NHK徳島放送局，四国放送，ケーブルテレビ徳島，エフエム徳島，エフエムびざん，徳島新聞社，朝日新聞徳島支局，毎日新聞社徳島支局，読売新聞徳島支局，日本経済新聞社徳島支局，あわわ・アーサ

協力団体：徳島工業短期大学，阿波町，海上自衛隊徳島教育航空群，JTB徳島支店，日本エアシステム

参加数： チーム数： 42チーム

完走台数： 31台

各チーム関係者総数：約300人

各会場来場者総数：約3000人

2000.8.18～20 四国EVラリーフェスティバル2000 in高知

場所： ざばさんセンター（高知市），高知工科大学（土佐山田町），あんぱんまん広場（香北町），ならびにそれらの周辺公道

協賛：日本電池（株） NTT 四国移動通信網 四国電力（高知支店）

後援：環境庁 四国通商産業局 高知県 徳島県 香川県 愛媛県 高知市 KSSさんさんテレビ NHK 高知放送局 KUTV テレビ高知 朝日新聞高知支社 日本EVクラブ 日本電動車両協会 日本自動車連盟 新エネルギー・産業技術総合開発機構 電気自動車研究会

協力団体：高知ポリテクカレッジ（社）日本自動車連盟（JAF）高知支部 高知市 土佐山田町 香北町 高知市帯屋町商店街（株）池電器商会 環境事業団 梅原デザイン事務所（財）イオンクルーフ環境財団 エコエネルギーによる地域交通推進協会、高知 NPO 香長中央病院 NPO 自然エネルギー普及促進協会 日本旅行高知支店（社）高知コンベンションビューロー 高知工科大学

期間中に関連して開催した行事：

夏休み電気自動車教室（講演、ソーラーカーキット組み立て）

スイス-四国・環境交流シンポジウム

交流会（ラリー参加者と地域住民）

帯屋町商店街電気自動車パレード

2001.1.20 電気自動車技術交流会

場所：ことひら温泉琴参閣（香川県琴平町）

共催：四国EVチャレンジ2000委員会，電気自動車研究会

内容：四国EVラリー2000におけるエネルギー消費特性 エンジン車との比較

佐藤員暢・吉田愛二・多田好弘（徳島工業短期大学 Prev）

CIVICのPURE EV化 ”目指したのは普通の乗用車” 芦田 隆（日晴金属株

式会社)

四国EVラリーフェスティバル2000 in 高知 “完走を目指して” 芦田 隆(TGMY Ashida)

二十一世紀の自動車技術と私達の暮らし 大聖泰弘(早稲田大学理工学部・教授)
電気ミニカー製作と法令佐光広格(日本ミニカー倶楽部)

超軽量ハイブリッド・ミニカーMicro の燃費性能について 加藤 哲(Micro EV)
朝日ポケット製作記 福原宏顕(チーム・エコチャレンジ)

電動オートバイ(スーパーえび 600)概要と, EV ラリーin 高知 多田博夫(阿南高専)

四国EVラリーフェス2000 in 高知・燃費計測の方法と評価 野村 弘(高知高専)
次回EVラリーの概要四国EVチャレンジ2000委員会

2001.3.24~25 電気自動車製作教室

場所: マリンウェーブ(香川県詫間町)

後援: 詫間町, 詫間町観光協会, 社団法人香川県自動車整備振興会, 朝日新聞高松支局,
四国新聞社, K B S 瀬戸内海放送, 西日本放送, N H K 高松放送局, 毎日新聞高松支局

内容: 3/24(土)(一般参加可能)

15:20~16:50 EV 拭乗会

3/25(日)(参加申込者)

9:00~9:10 開会あいさつ

9:10~9:30 1, 四国EVラリーについて

9:40~10:40 2, EVの概要とEVパーツについて

10:50~11:40 3, EVバイクの製作

13:00~14:00 4, 4輪EVの製作

14:00~15:00 5, EV製作実習及び試乗

閉会あいさつ

2001.8.25~26 四国EVラリーフェスティバル2001 こんびら大会

場所: いこいの郷公園(琴平町), マリンウェーブ駐車場(詫間町), および西讃地域の公道約300km

協賛: 日本電池(株), (株)NTT ドコモ四国, 香川三菱自動車販売(株), 四国電力(株)広告協賛: 香川三菱自動車販売(株), マツダグループ, (株)サンコー, 小野電線(株), 藤田加工(有), (株)豊田産業, 別所電線(株), 日本総合保険企画(株), 善通寺グランドホテル, 四国高分子工業(株), オカネツ工業(株), タイヤセンター(株), 福友会, たかせ天然温泉グリーンヒル(株)
大会終了後に, 「安田火災ちきゅうくらぶ」, 「三井海上火災保険(株)」からのご支援

を賜りました。

後援：環境省，四国経済産業局，NEDO 新エネルギー・産業技術総合開発機構，香川県，
琴平町，詫間町，日本電動車両協会，香川大学，四国新聞社，NHK 高松放送局，KSB
瀬戸内海放送，西日本放送，エフエム香川，日本 EV クラブ，電気自動車研究会
競技内容：電気自動車の長距離走行ならびに会場内特設コースにおける競技
市民向け行事：電気自動車等の展示・試乗・写生大会等

2002.8.19～30 四国EVウィーク2002新居浜大会

主催：四国EVチャレンジ2000委員会

協力：新居浜工業高等専門学校

協賛：日本電池(株)，(株)NTTドコモ四国，四国電力(株)

助成：新エネルギー・産業技術総合開発機構

技術協力：(株)ダイナックス高松

後援：環境省，新エネルギー・産業技術総合開発機構，四国経済産業局，四国運輸局，愛媛県，新居浜市，新居浜市教育委員会，日本電動車両協会，(社)愛媛県自動車整備振興会，(社)香川県自動車整備振興会，(社)高知県自動車整備振興会，(社)徳島県自動車整備振興会，(社)日本自動車連盟四国本部，NHK 松山放送局，南海放送，テレビ愛媛，あいテレビ，愛媛朝日テレビ，エフエム愛媛，愛媛新聞社，朝日新聞松山支局，毎日新聞松山支局，読売新聞大阪本社

行事内容

四国EVラリー2002

日程 8月24日(土)～25日(日)

場所 新居浜工業高等専門学校，ならびに同校から概ね半径30km圏内の公道

スケジュール 8月24日(土)

7:00～8:30 受付・車検

8:40～9:00 プリーフィング

9:00～9:20 開会式・テープカット

9:20～15:50 ロングディスタンス(持ち時間6.5h)

8月25日(日)

6:00～12:00 ロングディスタンス(持ち時間6h)

13:00～15:30 性能計測(加速・ブレーキ，燃費計測)

16:00～16:30 閉会式・表彰式

競技内容

ロングディスタンス

所定時間12.5時間以内に充電と走行を繰り返し，コースを完走するたびに得られるポイントの多少で電気自動車の性能を評価した。

加速ブレーキテスト

30m の助走区間において発進・加速し，到達した速度の速さで電気自動車の性能を評価した。ただし，計測区間通過後 20m 以内に停止できない場合は評価外。

燃費計測

走行した距離[km]を消費電力量[kWh]で割り燃費[km/kWh]を算出し，電気自動車の性能を評価した。

四国EV駅”電”2002 .8.19～30

市民向け行事

EV セミナー、EV パドックツアー、ソーラーカー展示&デモラン、EV 試乗会、ちびっ子ソーラーカー試乗会

関連行事（他団体主催）

ソーラーカー製作教室、新エネ・フロンティア 21

2003.8.18～29 四国EVウィーク2003徳島大会

主催： 四国 EV チャレンジ 2000 委員会

協力： 徳島工業短期大学

協賛： 日本電池(株)， 四国電力(株)，(株)NTT ドコモ四国

助成： 新エネルギー・産業技術総合開発機構

後援： 新エネルギー・産業技術総合開発機構， 四国経済産業局， 四国運輸局， 徳島県， 板野町， 日本電動車両協会， (社)愛媛県自動車整備振興会， (社)香川県自動車整備振興会， (社)高知県自動車整備振興会， (社)徳島県自動車整備振興会， (社)日本自動車連盟四国本部， NHK 徳島放送局， 四国放送， エフエム徳島， 徳島新聞社

四国EVラリー2003

日程 2003 年 8 月 23 日(土)～24 日(日)

場所 徳島工業短期大学(徳島県板野郡板野町)，

ならびに同校から概ね半径 30km 圏内の公道

行事の内容

(1)ロングディスタンス

(2)未舗装路走行(特設会場内において実施)

(3)燃費計測

四国EV駅”電”2003

日程 2003 年 8 月 18 日(月)～22 日(金)ならびに 25 日(月)～29 日(金)

場所 四国全域

行事の内容

四国内の主要道路沿道に分散配置された充電設備を利用して充電しながら走行する。

充電設備の開設期間は8月18日(月)~29日(金)。充電可能時間は概ね8~20時。
走行するコースや日程,充電計画は各チーム毎に事前に立案する。例えば四国一周,88ヶ所巡り,高知~EVラリー会場往復など。関西や関東,九州等からフェリーを利用すれば,自宅から自走で四国EVラリー参加も考えられる。
主催者は各チームが立案した計画を事前にチェックし,複数チームの充電場所・時間帯の希望がダブらないよう調整を行う。また,期間中,コントロールセンターを開設し,各チームからの充電場所・時間の変更希望に対応する。

2004.8.16~27 四国EVウィーク2004高知大会

場所:高知工科大学(土佐山田町) ならびにそれらの周辺公道

主催:四国EVチャレンジ2000委員会

運営:四国EVラリー 04実行委員会

協力:高知工科大学,土佐山田商工会

協賛:ジーエスユアサコーポレーション(株),四国電力(株),(株)NTTドコモ四国,マイウェイ電気(株)

撮影協力:高知トヨタ自動車(株)

後援:四国通商産業局 高知県 徳島県 土佐山田町

2005.4.1 四国EVチャレンジ委員会運営組織の変更

宮下晃一(鳴門教育大学)

長年勤められた会長から副会長へ

野村 弘(高知工業高等専門学校)

長年勤められた副会長から引退

多田博夫(阿南工業高等専門学校)

新会長に就任

2005.8.22~9.2 四国EVウィーク2005 徳島大会 (第8回大会 開催決定)

1. 行事名称 四国EVウィーク2005
2. 主催 四国EVチャレンジ2000委員会
四国EVラリー2005実行委員会
3. 特別協力 徳島工業短期大学
3. 協賛 四国電力,NTTドコモ,三菱自動車工業,ダンロップファルケンタイヤ,光洋
4. 後援 環境省,徳島県,徳島県教育委員会,板野町,板野町教育委員会,日本自動車連盟四国支部,日本EVクラブ,徳島新聞社,四国放送,NHK徳島放送局,エフエム徳島
5. 開催目的 自動車交通に関する地球環境の保全とエネルギーの有効利用,および電気自動車などの低公害自動車の大量普及を,広く国民各層,特に四国地域の人々に呼び掛けること

- 6 . 期 間 平成 17 年 8 月 22 日 (月) ~ 9 月 2 日 (金)
特に 27 日 (土) ~ 28 日 (日) は主会場周辺において行事を集中させる
- 7 . 場 所 実施エリア : 四国全域
主会場 : 徳島工業短期大学 (徳島県板野郡板野町)
- 8 . 行事内容 四国 EV ラリー 2005
四国 EV 駅 ” 電 ” 2005